				ī	J 2 7 3	年国調	76, 66	67 J		1		- 1						-				. 1			T
平)	戎 2	9	年 度		2 2 4	年国調	78, 60	08 人	区分		本台帳人		うち日本	人	産	業構	造		都道府県	名	₫	体 名	可 时 村	類型	II - 2
決	算	状	沈		口 増 i 面	減率	-2. 60. 9	97 km²	30. 1. 1 29. 1. 1	1 7	7, 236		74, 510 75, 306	人人	区分 2	7年国調	2 2 年国調	司		10		2075			
						密度	1, 25	57 人	増減率	2	-0.8	%	-1. 1	%	第 1 次	1, 541	1, 7		群馬	県		館林市	也方交付	税種地	1 - 4
蕨	入	の	状	況	(単	位:千円	• %)							9	第 2 次	12, 790	12, 7	51	41779	,,,,		AHTITI			
区	分		決 算	額	構成比經	在常一般!	財源等構	成 比								35. 8 21, 401	35 21, 9		区		分	平成 2	9 年度(千円	1) 平成 2	2 8 年度(千円)
地方	方 譲 与	税税		9, 523 8, 144	43. 4		41, 238 48, 144	76. 1						3	第 3 次	59.9	60		歳 入 出	総		額	28, 266, 64 26, 600, 21		28, 553, 235
利子割		金		7, 094	0. 9 0. 1		48, 144 17, 094	1.6 0.1	市	町村	[†] 税	Ø	状 況	(単	É位:千円。	%)	指定団体の指定状		歳 入 に		差	引	1, 666, 43		26, 687, 504 1, 865, 731
配 当 割株式等譲渡		金		7, 182 8, 281	0.2		47, 182 48, 281	0.3	区		分	収	入 済	額	構成 比 起	3過課税分	旧新産旧工特	× × 支	翌年度に編	製越すり	- /	源	8, 61 1, 657, 82		9, 430 1, 856, 301
分離課税月			4		-		40, 201	-	普	通	税		11, 541	, 238	94. 0	198, 021		×	単 年	度	収	支	-198, 48		-330, 169
道府県民税所	得割臨時交	付金	1 40	- 8, 517	- 5.0	1.4	- 08, 517	9, 3	法 定		通税		11, 541 4, 958	,	94. 0 40. 4	198, 021 198, 021	II	× ×	積級。	立僧	還	金	71	1	233
ボルフ場利	1用税交付	寸 金	1, 40	-	-	1, 4	-	-	内 個	人均	等割	 		, 993	1.1	- 130, 021	過疎	× : 況	積 立 金	取 崩	ЙL	額	1, 039, 74		1,071,070
特別地方行	当費 税 交 f 得 税 交 f	寸金	7	7, 219	0, 3		- 77, 219	0.5	所法	得 人 均	割 等 割		3, 778	3, 560 5, 753	30. 8 2. 3	47, 700	首都 紙	×	実 質 単	年 度		支	-1, 237, 51		-1,401,006 人当たり平均
軽油引用		金		-	-		-	-	訳法	人	守 刮 税 割	<u> </u>	759	, 790	6.2	150, 321	中部	×	区		分	職員数((B P) 給 料	人当たり平均 料月額(百円)
地 方 特 地 方	例 交 付 交 付	金税		4, 106 9, 910	0. 2 7. 6		54, 106 16, 282	0. 4 11. 3		定 資 ち純固定	産 税		5, 793 5, 778		47. 2 47. 1		財政健全化等 指 数 表 選 定	× -	般うち	消防		員 5	32 1, 566,	208	2, 944
内普 通	交 付	税	1,71	6, 282	6. 1		16, 282	11. 3	軽	自 動	車 税		201	, 092	1.6	-	財源超過	〇 × 職	うち甘	能	労 務			144	3, 256
	交 付 [特別交付	税计税	44	3, 387 241	1.6		_	_	市町鉱	村たり産	まこ税		588	3, 733 –	4. 8	_		員	教 育 臨 時	公頭	務	員員	35 103,	648	2, 961
(- 般	財源計	-)		9, 976	57. 8		58, 063	99. 9	特別	土地(-	-	-		等	合			***	67 1, 669,	856	2, 945
交通安全対分 担 金	策特別交付 ・ 負 担			2, 715 8, 795	0. 0 0. 8		12, 715	0.1	法定 目	外 的	通税		738	- 3, 285	6. 0	-		<i>ラ</i>	スパイ		755	数	w/ L	_ _ \	95.9 (当たり平均給料
使	用	料	53	8,719	1.9		3, 256	0.0	法定	目	的 税	<u> </u>		3, 285	6. 0	_				特別	職等	定	数適用開始年	- 月 日 (報	酬) 月額(百円)
手 庫	数 出	料金		0, 497 4, 335	0. 2 12. 5		_	_	内 事	湯業房	税 税			_	_	_	議員公務災害 非常勤公務災害		尿処理○市		町 村	長長	1 27.04 1 27.04		7, 800 6, 930
国 有 提	供 交 付	金		_	_		_	_	都i	市計	画 税		738	3, 285	6.0	-	退職 手当	× 火	葬場 × 教	7	育	長	1 27.04	. 27	6, 424
	た調 交 付 県 支 出	金)	1, 75	2, 682	6, 2		_	_	訳 水 利法 定	地 益 外 目	税等的税						7 10 IM / 119	× 常 / · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	備消防○議 学校×議			長長	1 18.10 1 18.10		4, 590 4, 140
財 産	収	入	5	3, 480	0. 2		-	-		によ				-	-	-	老人福祉	× 中	学 校 × 議			員	18 18.10		3, 870
寄繰	附 入	金金		5, 365 7, 823	0. 7 5. 1		_	_	合		計		12, 279), 523	100.0	198, 021	伝 染 病	× そ	の 他 〇						
繰	越	金	43	5, 731	1.5		-	-																	
諸 地	収 方	入債		3, 830 2, 700	5. 2 7. 9		500	0.0																	
うち減収	甫塡 債(特例			-	-		-	-																	
カ ち 臨 串	手財政対策 合	粒 慎 計		4, 900 6, 648	4. 1 100. 0	15, 1	74, 534	100.0																	
性	質	別	歳	出	の状	況		(単位	: 千円·9	%)			目 的	別	歳出	の ‡	: 況 (単位:	千円・%)	区		分	平成29年度	(千円) 平	Z成28年度(千円)
区	分		決 算	額	構成比充	5 当一般月	財源等経	E常経費	充当一般財源	原等 経常中	反支比率	区		分	決 算 額	構成比	(A)のう	うち	(A) Ø	基準	財政	収 入 額	i 10, 2	79, 331	10, 112, 325
人 う ち	件 職 員	費給		7, 069 3, 304	15. 8 11. 2		61, 691 94, 715		3, 850, 1	21	23.6	維	숲	力	(A) 216, 00		普通建設事	事業費	充当一般財源等 216,001	基準標準		需要额入额等		01, 692 79, 654	12, 003, 318 12, 926, 913
扶	助	費	5, 81	9,044	21.9	1, 8	64, 878		1, 864, 6		11.4	総	務	費	2, 640, 32	21 9.9		267, 740	2, 009, 470	標準	財 政	規模		40, 843	15, 934, 076
<u> </u>	債 元	費金		9, 568 4, 511	8. 2 7. 5		67, 343 84, 831		2, 167, 3 1, 984, 8		13.3 12.2	民衛	生生	費費	10, 055, 78 2, 732, 5			59, 088 32, 698	5, 241, 253 2, 594, 785	財 政実質		指 数比率(%)		0.84 10.3	0. 84 11. 6
	量金{元			4, 468	0.7		81, 923		181, 9	23	1.1	労	働	費	74, 36	64 0.3		-	55, 432	公債事	貴 負 担	比 率 (%		11.1	11.0
	入金利		12. 20	589 5, 681	0.0 45.9	7. 8	589 93, 912		5 7, 882, 1		0.0 48.3	農村商	* 水 産 ; 工	業費	355, 63 1, 058, 8			76, 726 9, 827	293, 104 283, 556			比 率 (%) 字比率 (%)		_	-
物	件	費	4, 10	3, 291	15.4	3, 0	95, 105		2, 978, 9	22	18.3	土	木	費	3, 140, 38	32 11.8		639, 285	1, 825, 818	比 生 実 質	紅公 債 費	比率(%		4. 9	4.5
維持動	補修費	費等		3, 569 1, 835	1.0 12.3		25, 188 90, 014		225, 1 2, 534, 5		1. 4 15. 5	消教	防育	費費	1, 084, 74 3, 052, 0			113, 153 473, 920	1, 020, 233 2, 110, 509		財	比 率 (%)	2. 4	90. 7 86, 056	92. 6 2, 125, 086
うち一部	事務組合負	担金	1,74	5, 841	6.6	1, 7	45, 841		1, 614, 5	71	9.9	災	害復旧	費				, 020	-		金高減	佳	2	11, 893	389, 803
繰 積	出立	金金		6, 674	10. 8 1. 1		93, 165 63, 822		2, 251, 7	43	13.8	公諸	費 支 出	費金	2, 189, 56	8.2			2, 167, 343	地方	情 現			22, 677 88, 073	422, 761 25, 349, 884
投資・出資				6, 289	3. 6		13, 464			-	-	前年	度繰上充	用金				-	-		物件	等 購 入		11,000	-
前年度線投資		金費	2, 67	2, 437	10.0	9	42, 834	経常	圣費 充 当	一般財	源等計	歳	出 合	計	26, 600, 2	15 100.0	2,	672, 437	17, 817, 504	債務負担行為 (支出予定額	∮額保証 面)そ	・補償の組	7.6	- 54, 015	8, 179, 977
うち	人件	費	14	5, 952	0.5	1	45, 952		1	5, 872, 545	千円	繰公	合	計	3, 604, 394	会国実	質収	支	282, 155		実 質	的なもの			
	設事業 補	費助		2, 437 8, 809	10. 0 3. 9		42, 834 43, 667	経	常 収 97.3 %	支 (104		営事	病 下 水	院道	727, 720 564, 234	民 群 健 加 入		収 支世帯)	164, 662 11, 862	収 益 土 地 開	事業	w 収入 金現在高	1.1	28, 577	- 1, 128, 535
う	ち 単	独		9, 266	5. 9		91, 605		(減収額	填 債 (4	特例分)	業	上 水	道	- 51, 551		険 者 数	(人)	19 821	206				96.8	98.9 96.5
	旧事業策事業			-	_		-	歳 ス		時財政対策 と 財		等へ	工業用国民健康		663, 828	状 険 被保険 事 1 人当			93 98	収現・率年・	計市町	村民稅定資産稅	98.6	96. 2	98.6 96.0
	パ ナ 木							n0% /		9, 483, 937		出の	当 氏 陸 旅	他	1, 648, 612	ೄ 事 1人当			276	(%) -	64c pp	1 PV 17	30.0		
出	合	計	26,60 事業費には受診		100.0		17, 504					1		-		况 莱	(保険料	百 竹 須	210	(%) □		定資産税	99.0	97.0	99. 0 96. 7

⁽注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

^{2.} 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。

^{3.} 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。

^{4.} 人口については、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

^{5.} 面積については、調査年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。 6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。 (その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)

^{7. 「}一般職員等」、「ラスパイレス指数」、「特別職等」については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。